

令和4年度 第50回 鹿児島県スポーツ少年団バレーボール競技別交歓大会

【新型コロナ感染対策】

本大会は、鹿児島県小学生バレーボール大会開催のガイドライン（最新版）に基づき実施する。

1. 入 館（IDカード・検温・手指消毒）・退 館

(1) 体育館へ入館するすべての方はIDカードを所持していること

IDカードを持っていない方の入館はできない。体育館内ではIDカードを常時付けること。

入館する際は、IDカードを掲示し、手指消毒後、入館すること。

(2) 体育館へ入館できる人数は、各チームの選手（チーム団員は令和4度スポーツ少年団に登録している団員最大12名）、ベンチスタッフ3名、応援者等30名までとする。また、帯同審判も入館可能とする。

※新型コロナウイルスの感染状況次第では、応援者の人数を変更する場合がある。

(3) 応援者と試合、審判に関係ない選手は、体育館を出ること。（退 館）

ただし、指導者（当日ベンチ入りする指導者）は、本部が指定する観覧席にて試合観戦可能とする。

2. 換 気

体育館の窓、カーテン、暗幕は、可能な限り、終日開けっ放しとするが、日差し、雨天、強風など、試合に影響があると判断した場合はカーテン、窓を閉める。また、試合間、昼食時間等に定期的な換気を行うこと。

3. 昼食とその他飲食

昼食時間は設けない。昼食時間はチームで調整し対応すること。

※また、応援者は、会場内、外で集まつの飲食は行なわないこと。

4. ベンチ（椅子）の消毒（消毒剤、拭きものはチームで準備すること）

ベンチ（椅子）は、コートチェンジ及び試合終了時に消毒してから移動・撤退すること。

また、2階の応援席を使用した場合、応援席の消毒を行い退館すること。

5. 競技エリアへの入場・退場

試合が終わったら速やかに競技エリアから退場すること。（試合終了後、競技エリア内での指導者による指導、指示を行わないこと。）

次の試合チームの競技エリアへの入場は、前の試合のチームが競技エリアを退場したあととする。

フロアー係（競技員等）の指示に従うこと。

6. マスクの着用

試合中及び公式練習の選手以外は、ベンチスタッフ、ベンチ及びアップゾーンの選手は、マスクを着用すること。※試合中のマスク着用の判断はチーム判断とする。

7. 応援方法

ベンチ、アップゾーンの選手及び観客席の応援は、拍手のみとし、声を出さないようにすること。鳴り物も禁止とする。

8. 体調不良者の対応

大会期間中に体調不良者がでたら本部に連絡をすること。

※ガイドライン及び大会運営本部に相談すること。

【開会式・閉会式、表彰】

1. 開会式・閉会式・・・実施しない。

2. 表彰及び表彰式・・・優勝、準優勝、3位までのチームをコート表彰とする。

3位決定戦は行わない。

【試合、審判時の留意事項】

1. 試合間

試合間は10分間とする。その都度本部より放送にて連絡する。

2. 公式練習

公式練習は全試合実施する。

※4面とも使用し試合を行うので、公式練習前のボールを使った練習は隣接するコートにボールが入ることのないよう配慮・工夫すること。

3. 試合球

各チームから試合球を **2個**出すこと。(ミカサ)

(監督会議後、空気圧測定をするのでキャプテンは本部へボールを持ってくること)

4. 試合開始、終了時の握手・挨拶

対戦相手チームとの、試合開始、終了時の握手はしない。

選手は、エンドラインに間隔をあけて整列し、エンドラインで挨拶してベンチへ戻る。又はコートに入る。

※試合終了時、相手、自分のチーム（応援者）への挨拶は不要とする。

5. ボールの消毒

試合中のボールは、**ワンラリー毎に交換する**。(副審が配慮すること。)

※ボールの消毒係を配置して消毒と交換対応を行う。(消毒剤、拭きものは審判チームで準備すること)

6. ユニホーム

選手は定められたユニホームを着用し試合を行うこと。

混合については、男女でユニホームのデザインを分けることが望ましい。又は、ソックス、ハチマキなどで男女がわかるようにすること。

7. ベンチスタッフ（マナー・服装・胸章の提示など）

(1) ベンチスタッフは、ベンチでのマナーを守ること。(暴言・暴力が無いこと)

※暴力などを見かけた場合は、退場処分とする。

(2) ベンチスタッフは密にならないように座ること。(椅子は5脚、間隔をあけて準備する)

(3) ベンチスタッフの服装は統一し、短パン類や襟無しシャツの着用はしないこと。

シャツの裾はズボンの中に入れること。

試合中の“うちわ”の使用やタオルの首、肩かけは禁止とする。(県小連服装規定の遵守)

(4) ベンチスタッフは、規程のマークを左胸に提示すること。

8. ワイピング

競技エリアが汗でぬれた場合、原則、コート内の選手によるワイピングで対応すること。

モップを入れるかどうかの判断は、主審、副審の判断とする。タイム、セット間のモップ使用は可能とする。

9. 審判団及び補助員

(1) 審判の順番は、組み合わせ表に記載する。

審判を行うチームは直ちに準備願すること。また、相互審判の場合、記録、線審や補助員の配置は各チームの指導者で協議し決めること。

(2) 各チームは、**記録2名、線審4名、点示2名、ボール消毒係2名**の審判団、補助員を出すこと。

ボール消毒係は、記録席の後付近でボールの消毒をすること。

(3) 審判（補助員含む）をするチームは、**線審のフラッグ、記録の筆記用具はチームで準備すること**。

記録、線審、点示は原則選手で対応することとしますが、選手が足りないチームは、指導者が手伝うこと。

それでも足りないチームは、応援者が手伝うこと。

(4) 主審・副審は相互審判とする。

JVA 公認審判又は県小連公認審判員等の有資格者で実施すること。

ただし、有資格者が不在の場合、県公認審判同等の方でも可とする。

(5) 主審・副審は、規定のワッペン及び規定の服装を着用すること。

(6) 審判団は、審判中は**マスク着用**とする。

【体育館施設の使用について】

1. 喫煙は定められた場所で行うこと。

2. 履物は体育館の玄関（靴箱）に置かないこと。シューズケース等に入れてチームで管理すること。

3. 施設内のコンセントの利用や、施設内及び施設周囲でコンロなどは使用しないこと。

4. 器具、備品類の破損は実費での負担で弁償すること。

5. 弁当を業者に頼まれた場合は、受け取り及び弁当空の対応はチームで責任をもって実施すること。

6. 忘れ物がないようにチームで責任をもって備品管理すること。

【大会当日のスケジュール】

- 7:50 大会役員集合、チーム関係者集合
- 8:00 各会場設営準備（大会役員と各チーム関係者（2～3名））
- 8:15 **受付** 原則、監督が受付を行う。
（健康チェックシート、構成メンバー表の提出、領収書の受け取り）
- 8:20 **監督会議（全チーム）**
- 8:30 1 試合目のチーム入館、入場。（登録選手最大 12 名、指導者 3 名）
（入館時に ID の確認）
- 8:40 1 試合目の審判チーム 12 人（選手と帯同審判）と 1 試合目応援者等 30 名入館
（入館時に ID の確認）
- 8:49 1 試合目 プロトコール
- 9:00 1 試合目 試合開始（全コート同時開始）
※ 2 試合目以降は前の試合の進行状況により実施します。